

子どものスポーツ大会

近所のテニスコートでは、毎日たくさん子どもたちがテニスの練習をしています。週末は、朝はやくから夜おそくまで、みんな一生懸命練習しています。春から夏にかけて、子どもたちの肌はどんどん日焼けして、顔も体もたくましくなっていきます。たくさん練習をしている理由は、試合で勝ちたいからだそうです。特に上手な子どもたちは

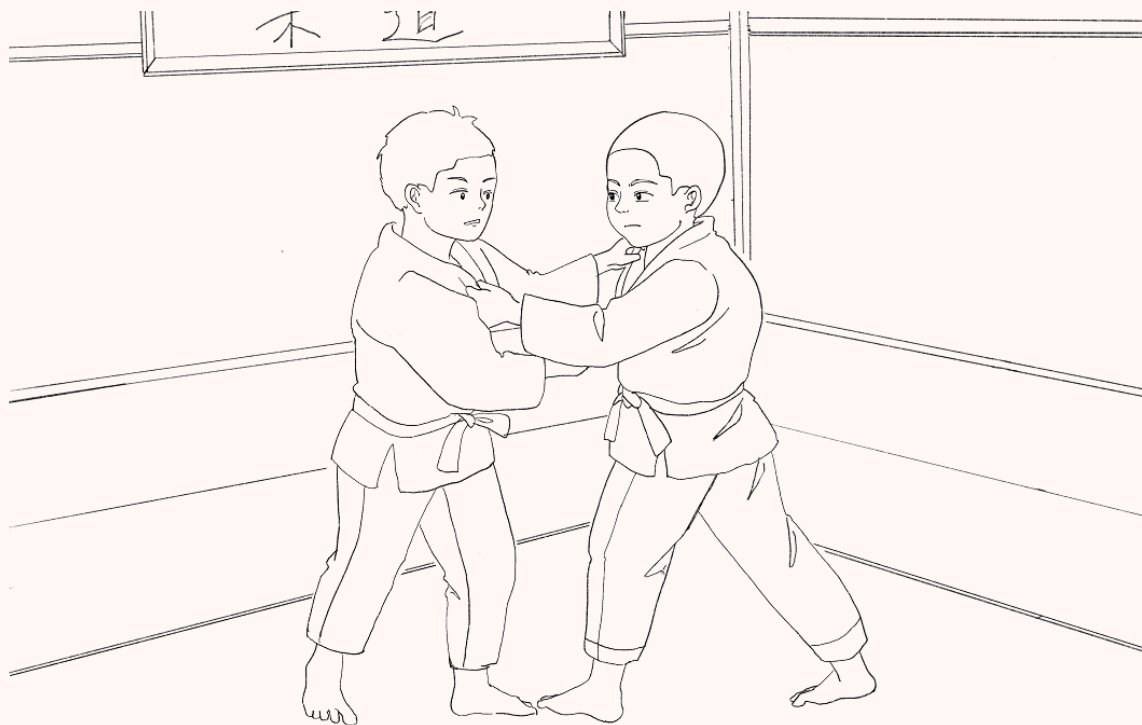
「全国大会に行きたいから、たくさん練習している」

と言います。全国大会というのは、日本中から上手な人が集まって、その中で一番上手な人を決める大会です。全国大会に行くためには、まず自分が住んでいる町や市などの大会で勝たなければいけません。その次に、自分が住んでいる都道府県の大会で勝たなければいけません。

日本には、テニスだけではなく、いろいろなスポーツで、子どもたちの全国大会があります。多くの子どもたちが、全国大会に行くことや、全国大会で勝つことを目標に、毎日たくさん練習をしています。

ところが、2022年の3月に、少しびっくりするニュースがありました。小学生のための柔道の全国大会は、もうやらないことになったのです。なぜなら、親や指導者が、勝ちたいという気持ちが強すぎて、良くないことをたくさんするからです。例えば、自分の子どもが負けたとき、親が審判や相手に悪いことを言ったり、自分の子どもを叩いたりするということがよくあるそうです。このままの状態が続くと、子どもたちの心や体の成長に良くないということで、小学生のた

めの柔道の全国大会はなくなりました。



Sasaki Akino

(Drawn by Akino SASAKI)

日本では柔道をやっている小学生がたくさんいて、全国大会を目標に毎日がんばっている子どもたちもたくさんいます。子どもたちは、急に目標がなくなってしまったので、とても悔しいようです。柔道だけではなく、他のスポーツでも、子どもたちの全国大会をやめようかどうしようかという話し合いがはじまっています。

ある新聞社のアンケートによると、小学生のためのスポーツの全国大会については、賛成する人と反対する人が同じくらいいるようです。私は、目標のためにつらいことを頑張ることは大事だと思うし、試合に負けても、頑張った経験は人生の役に立つと思います。だから、子どもたちのために、全国大会を続けてほ

しいです。そのためには、「勝つことが一番大事だ」と思っている親や指導者の考え方を変えなければいけないのかもしれませんが。

(975 字)

(2022.10 Written by Junko SATO)

<参考資料>

- ・「日本柔道連盟」ウェブサイト
<https://www.judo.or.jp/news/9766/>
- ・「朝日新聞デジタル」ウェブサイト「小学生のスポーツの全国大会について、あなたの思いをお聞かせください」
<https://www.asahi.com/opinion/forum/156/>

(2023.1.24 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.